（研究概要）

Learning Health System（LHS）は「医療の現場」より得られた診療の知識を迅速にフィードバックし、医療の質を改善するシステムであり、その手法の開発は喫緊の課題である。我々はLHSの実践モデルとして医療のプロセスをOutcome、Assessment、Task（患者の望ましい状態、評価基準、医療行為）の最小単位（OATユニット）に分割・再構築し、効率的なデータ解析が可能となる電子パス (ePath)システムを開発・実装してきた。本研究では糖尿病外来診療をモデルとし、ePathシステム上でPHRにおける生活習慣情報と病院医療情報をOATユニットで構造化・融合した外来診療プラットホームの開発を目的とする。さらにePathシステム上でのLHSの実践により科学的根拠に基づき患者個人に最適な生活習慣を提案できるシステムとして発展させることを目的とする。本研究開発によりこれまで困難であった病院診療情報と生活習慣情報との横断的解析が可能となり、患者中心医療や多様な生活習慣のエビデンスが構築されることが期待される。

